



災害時における「共助」の中核となる「自主防災組織活動」

維持管理計画を作成し、住宅需要に対応していきます。  
また、購入した5カ所の「雇用促進住宅」を、勤労者はもちろん、高齢者にも優しい「定住促進住宅」として提供していきます。

◎**安全・安心の確保**  
市民が「安全で安心して暮らす」ことができるよう、登米地域防災計画に基づき、防災体制の強化を進めます。災害時における「共助」の中核となる自主防災組織活動の活性化・育成強化を促進するとともに、これらを基本とし、消防・防災関係機関並び



昨年ローソンから期間限定で商品化され人気を呼んだ「油麩井」

ある登米地域の食のさらなる周知や、「仙台・宮城伊達な旅キャンペーン」などとの連携によって、観光客の滞在時間の延長や誘客を図ります。  
「観光商品等開発実証事業」を実施し、新たな観光資源の掘り起こしと商品の開発や、観光ボランティア育成、組織化を図り、観

市内企業の支援については、受注拡大のため、より多くの商談機会や新たなビジネスパートナーを発見するためのビジネスマッチング開催のほか、高校・大学などの進路指導者と企業人事担当者との情報交換会の開催や、人材確保対策・企業の幹部社員などを対象とした研修会など、人材育成のためのサポートを行います。

◎**観光・物産振興**  
観光・物産振興については、昨年B-1グランプリ出場などで脚光を浴びた「油麩井」や郷土食「はつと」など特色

## 定住の促進

### 豊

なまちづくりを進め、産業の振興を核として

雇用や医療、住宅の確保、市民生活のサポート体制の充実など、安心して暮らせる生活環境の整備を進めることにより定住促進を図っていきます。

◎**雇用の確保**  
現在の雇用情勢は、有効求人倍率が11月末には0.38倍と多少上向いてきてはいるものの、依然として大変厳しい現状にあります。

雇用の不安は生活不安に直結することから、「緊急雇用創出事業」に加え、「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、昨年度からの継続事業のほかに「畜産物消費拡大実証事業」、「観光商品等開発実証事業」、「商店街再整備実証事業」の3事業を追加し、

光客の受け入れ態勢の整備を図ります。  
そのほか、仙台登米物産館での直接販売の強化や、ふるさと雇用再生特別基金事業で実施している「みやぎ登米ふるさと館」によるインターネット販売を充実させ、物産の振興を図ります。

新たな雇用の場の確保を図ります。

さらに、離職者が再就職するために必要な技術や資格を取得するための給付金制度や、今春高等学校を卒業する生徒が地元企業に就職できるようにするための支援も行います。

### ◎医療の確保

市の医療体制は、佐沼病院を

中核とした市立4病院3診療所がその根幹を担い、市内の開業医や隣接医療圏の高次医療機関と連携して市民の安全・安心を守る役割を果たしてきました。

しかし、人口10万人当たりの医師数は、全国や宮城県の平均の半分程度と少なく、救急医療体制の維持も困難な状況にあり、収支の悪化による経営問題は本市にとって大きな課題となっています。

宮城県では、昨年の10月に平成21年度から25年度までを計画期間とする「地域医療再生計画」を策定し、県内で最も医師不足が深刻な登米地域



開業医や医療機関と連携して医療の中核を担う「佐沼病院」

の課題解決に向けた取り組みを始めたところです。  
東北大学や宮城県医師会、中核病院などとの連携による「宮城県医師育成機構」の設置は、地方の医師不足を解消するため、仙台医療圏に偏在している医師を、循環的に配置しようとするものであり、本市の医学生奨学金事業による医師招聘対策と併せ、医師不足解消の支えになるものと期待するものです。

### ◎住宅の確保

比較的生活利便性の高い立地条件にある住宅は、修繕・改善など、長寿命化のための

## 3つの柱とともに

今年度は市政運営に当たっては、地域の中で生きる糧をしっかりと得られる

「産業の振興」、安心して市民生活を送るための「定住の促進」、そして地域が自ら考え、主体的に行動する「地域の自立」という3つの柱を基本にして、激動の時代の動向を常に把握し、市民の皆さんとともに、この難局を乗り越えられるよう、魅力あふれる登米市へ向かって、市の舵取りをしていきたいと考えています。

## 地域の自立

### 地

域の自立は、そこに住む人々が支え・助け合

いながら主体的に地域づくりにかかわり、一丸となって課題の解決や共通の目標達成に取り組み連携から生み出されるものと考えます。

このため、地域自らが考え主体的に行動し、その行動と選択に責任を負えるよう「地域の自立」に取り組んでいきます。

### ◎人材育成

自らの意志と力で立っていく「地域の自立」を推進していくためには、人材育成と個人の力を組織力に変えていく仕組みづくりが必要であると

考えます。  
地域の人材や地域内ネットワークを駆使し、地域の潜在

能力を発揮できるステージをつくり、その潜在力を開花させる取り組みを、協働のまちづくりの中で進めていきます。

◎**協働**  
地域に最も精通している地域住民の皆さんの知恵と力を、まちづくりに生かすステージをつくるため「地域課題解決に向けた取り組み」や「地域の人や素材を生かした個性ある事業」、そして「地域の伝統・文化の継承や団体の連携や協働」など、地域に根ざした活動を支援する「協働のまちづくり地域交付金」を新たに設けます。

### ◎男女共同参画

すべての市民の人権が確保され、次世代の担い手の皆さんが住み続けたいと思える市を目指し、平成23年4月施行を目標に、市民と共に「仮称」登米市男女共同参画条例」の策定を進めるとともに、皆さんの意見を聞く、タウンミーティングやフォーラムを開催します。



地域の将来像を皆で描く「市民が創る地域のまちづくり計画」